

第1 常任委員会からの報告



▲ふるさと納税サイト「さとふる」の留萌市のページ

■留萌市応援寄附金（ふるさと納税）返礼品協力事業者の募集
4月1日より、ふるさと納税サイト「さとふる」にて留萌市のふるさと納税の申し込み受付を開始しました。
留萌市にふるさと納税をして頂いた方の返礼品には、日本一の生産量を誇る「塩かずの子」などの質の高い水産加工品や全国食味分析鑑定コンクール3年連続金賞の「ななつぼし」など良質な米の他、留萌市ならではの海の幸、山の幸を送ります。
委員会の中では、季節に応じた旬のものを旬な時期に送ることとはできないか、返礼品に新鮮な海産物を送れないかなどの意見があり、検討を重ねてきました。留萌市ではこれからも事業



▲今年度に整備する予定の道路(南5丁目通り)

者に対し、特産品を広く募りふるさと納税返礼品を充実させていきます。
■第4次留萌市道路整備5箇年計画
この計画では、生活道路における舗装の老朽化解消を主な目的として、安心安全な都市機能、快適な都市機能の向上を推進していきます。今年度に整備する予定の道路は「住之江6号通り」「沖見29号通り」など8カ所を予定しています。
国の補助事業は今後も引き続き厳しい状況が予想される中、国の重点化施策である老朽化対策事業を積極的に活用し事業を推進します。老朽化対策以外の道路改良舗装系の事業については、補助事業採択が非常に厳しいため、市債を活用した事業を推進します。

第2 常任委員会からの報告

■第3期留萌市福祉計画策定
誰もが安心して暮らせる住み良い地域社会づくりを目指した留萌市福祉計画は、平成17年に第1期が策定され、29年度から33年度までの5年間を計画期間とした第3期がスタートします。常任委員会として、地域福祉に関する住民のニーズ把握や課題分析を踏まえての計画になるよう協議しました。
また、昨年実施した市民アンケート調査によると、高齢者や障がい者が在宅生活を続けられるサービスの充実を望む声が多いことを念頭に、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを注視していきます。
■東光小学校整備事業完了
3月30日、耐震補強工事などが完了した東光小学校を視察しました。
老朽化が著しく、平成26年度から施設各所の補修と耐震補強工事など大規模改造が行われていましたが、快適で安全な教育環境が整備されました。



▲明るく快適になったトイレ

また、トイレは和式から洋式に変更し、怪我などをした際にも不安のない車イス対応のトイレやシャワーも設置されました。玄関は、ブーツも入る長い靴箱に取り替えるなど、最適な環境が整備されていました。耐用年数は約15年間を予定しています。
るい校舎になりました。



▲補強工事が完了した東光小学校校舎

議会です こんにちは

留萌市議会だより

第124号

留萌市議会事務局

TEL42-1907 FAX43-6700
URL : <http://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html>
E-mail : rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

留萌市議会

検索



※左記のQRコードからも留萌市議会のホームページにアクセスできます。

主な内容

- P10 中学・高校生との意見交換会を開催します
- P11 各常任委員会からの報告
- P12~P14 第1 回定例会一般質問項目
- P15 予算審査特別委員会からの報告(一部抜粋)
- P16 森林・林業・林産業活性化推進議員連盟からの報告
北海道市議会議長会 道北支部議長会が開催
- P17 こんなことが決まりました
各組協議会からの報告 ほか

留萌市制施行 70 年特別企画

初の

中学・高校生との意見交換会



留萌市議会では、市内の中学・高校生を対象とした初めての「意見交換会」を開きます。マチづくりなどについて意見交換を行うほか、決められたテーマについて話し合い、一日議員体験をしてもらいます。

昨年6月に改正公職選挙法により選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、その1票が地域社会を変えることができるようになりました。自分たちが暮らすマチにもっと関心を持ち、議会との意見交換を通して、故郷留萌の未来を考えるきっかけとしてもらいたいと願い、開催します。

と き

夏休み期間中

※決まり次第、市議会ホームページなどでお知らせします。

対 象

市内の中学・高校生

場 所

市議会議場
(留萌市役所3階)

詳しくは、留萌市議会事務局にお問い合わせください。

平成29年第1回定例会

一般質問と答弁



村上 均

留 萌 党
留 公 明 党

【質問】防災情報伝達体制強化について

北海道日本海沿岸部津波浸水想定公表を受け、海岸線の津波影響開始時間は最短28分、浸水予想地区へのいち早い防災情報伝達が大切である。防災行政無線は威力を発揮するが、強風などで聞こえづらい場面もある。情報伝達体制強化の取り組みを伺いたい。



▲津波の発生などの情報を自動受信できる防災ラジオ

【答弁】今回の津波浸水予想でほぼ浸水域となった海岸線の住民に防災行政無線の放送を自動受信できる防災ラジオを無償貸与し災害発生時の情報伝達の補強を図る。

【質問】地域包括ケアシステム構築について

て

地域で取り組む包括ケアシステムでは、認知症対策が大きな柱のひとつとなる。そこで「認知症ケアパス」にどう取り組むのか伺いたい。

【答弁】認知症ケアパスは、発症予防から人生の最後段階まで生活機能障がいのある状況に合せてどのような介護サービスを受ければ良いのかの流れを標準的に示したものであり、平成29年度をめどに医療機関、介護事業所と連携を図りながら作製し、関係機関への普及啓発に取り組みたい。



戸水美保子

留 萌 党
留 公 明 党

【質問】ご当地婚姻届の製作について

各地でマチの特徴をあしらった「ご当地婚姻届」が作られている。新しい夫婦の門出の記念として、留萌市の応援メッセージとして製作を検討してはどうか。

【答弁】ご当地婚姻届は、夫婦としてスタートする記念になり、地域全体で結婚を応援していることを表すことができる。作成について前向きに検討したい。

【質問】高齢者のごみの分別について

ごみの分別が細かいため、分別に困難

さを感じている高齢者からご相談をいただいている。一人暮らしで近くに教えて貰える方がいない場合など、留萌市は住みにくいと感じられている。

気軽に電話で問い合わせられるように担当の番号を大きく印刷したステッカーなどを配布してはどうか。また、現在の分別種類を見直す考えはないか。

今後、認知症などで分別できなくなる高齢者が増えることが予想されることから、ごみ分別について何らかの支援策を検討できないか。



▲新しくなったごみ分別ハンドブック

【答弁】ごみ分別支援は地域での支え合いが基本となる。地域コミュニケーション活動の中で具体的な議論が必要だと考える。



土田 悦也

留 萌 政 会

【質問】留萌の玄関口としての駅前エリア活性化について

留萌駅前はJR留萌駅、各バスターミ

ナルの結節点でもあり（仮称「留萌IC」）に最も近接した重要なエリアである。ゲートウェイとしての環境整備の充実が必要と考えるが市長の考えをお聞きしたい。



▲駅前エリア

【答弁】平成34年度をもって都市計画マスタープラン、32年には「都市計画区域内における整備・開発・保全の方針」が改訂時期を迎えるため現状に見合ったものとして見直しの準備を進めていきたい。

また、生鮮販売を核とした「駅前地区」の活性化は、駅前大通り商店街振興組合とも意見交換し、駅前地区全体としての意思や意欲の確認、さらには取り組む場合の課題などを整理した上で判断していく必要がある。

【質問】観光ストーリーの構築について

市民誰もが観光ガイド・観光コンシェルジュとなるための計画が必要では。

【答弁】観光協会、留萌商工会議所とも連携し、しっかりとその活動を支援する。



坂本 守正

民 進 党

【質問】新・留萌市立病院改革プランについて

公立病院改革の究極の目的は、公・民の適切な役割分担のもと、地域において必要な医療提供体制の確保を図り、へき地医療・不採算・高度先進医療などを提供する重要な役割を担っていくため、どのような視点で策定したのか。

限られた医療資源の中で、地域完結型の医療を支えていくための具体的な取り組みについて伺う。



小野 敏雄

芽 っ 子
留 萌 ク ラ ブ

【質問】幼児療育通園センター整備計画について

幼児療育通園センターは、公共施設の個別計画が決まっていな中での新築移転となるが、他施設との比較での緊急性、優先度についてお聞きする。

【答弁】幼児療育通園センターは築後45年が経過し、現行の耐震基準を満たしていないことや維持管理費の増大といった課題を抱える中、利用者の安全や療育機能の充実を図る上で、改築が望ましいと判断した。

【質問】高校統合と留萌中学校移転計画について

高校統合後の校舎となる千望高校校舎周辺環境変化への対応と留萌中学校移転計画の内容、経過について伺う。

【答弁】統合後は現在の3倍の生徒が通学することになり、周辺の安全対策を講じ



▲留萌中学校



川口 宏和

芽 っ 子
留 萌 ク ラ ブ

【質問】多くの雪捨て場確保に向けて

市内の道路の現状を見ると、雪捨て場が不足しているが、雪捨て場を拡充する考えはないか。

民有地を雪捨て場として借り上げ、固定資産税を減免しているところもあるがその考えはないか。

【答弁】雪の堆積場確保については個人の善意により、民有地を堆積場として利用させていただいているところもあるが、融雪期に雪中のごみが散乱するなど、

後々トラブルにならないように利用したい。

固定資産税の減免については、すでに無償で提供を受けており、公平性の観点から現時点では難しいと考える。



▲大和田八線左の沢市民雪捨て場

【質問】デマンドバス導入に向けて

今後高齢化が進み、自家用車を運転する人口も減少し、通院や買い物など生活の足を確保することは重要な課題であるが、自宅を起点にしたデマンドバスの運行について実施する考えはないか。

【答弁】平成22年度に実施した実証運行でのアンケート結果により判断し、本格運行に至らなかったが、これから先の高齢化社会を考えると高齢者の足の確保について検討が必要と考える。



村山ゆかり

芽 っ 子
留 萌 ク ラ ブ

【質問】留萌市の農業、漁業振興

予算審査特別委員会からの報告（一部抜粋）

【総務費】

Q地域おこし協力隊募集の分野と人数について

A観光、地域医療・健康づくり、農業農村活動に関わる分野で、全体で6人程度としている。

Q高齢者の運転免許証の自主返納後は、バスやタクシーチケットの配布支援を行うなどの考えはあるか

A市では、免許証返納に伴う独自の事業は実施していない。警察署などと連携し、老人クラブなどで運転講習などを行う機会を設けたい。

Q風力発電には地域の可能性があると考えます。誘致に向けた研究と取り組みについて伺う



▲礼受牧場に設置の風力発電機

A三泊の風況調査や北海道電力の受入拡大など、いろいろな動きもある。調査研究の中で市として何ができるかを検討していきたい。

Qホームページ管理委託の内容は

A4月1日から市のホームページが新しくなる。実施に伴うサーバの借上げや保守管理、翻訳・音声読み上げ機能のための内容である。

【民生費】

Q緊急通報システムの申請要件は

A設置の対象者は、65歳以上の一人暮らしなどで病気で緊急時に対応が困難な方や、75歳以上の一人暮らしなどで日常生活に不安がある方である。

Q障がい者施設の支援員不足に対する市の取り組みは

A事業所への求職者が少ないことから、ハローワークと情報交換し、解決に向けて取り組みたい。

Q留萌には青少年団体を取りまとめる連絡協議会がない。青少年の健全育成のために連携をとる必要があるのでは



▲毎年好評の子どもまつり

A留萌市青少年健全育成推進協議会は、市で委嘱している推進員によって事業を実施している。青少年団体だけではなく、総合技能士会や奉仕団体などと共に事業を進めている。

【衛生費】

Qなぜ医療クラークの育成が医師の確保に繋がるのか

A確かなスキルを持った医療クラークは医師の事務作業の軽減となる。診療に集中できる状態をつくるのが医師の確保に繋がると考えている。

Q留萌南部衛生組合負担金の増額の理由は

A一般廃棄物処理施設の建設の際に、公債費の償還が始まったためである。

【農林水産費】

Q憩いの森を、眺望を楽しめる周回コースとして整備はできないか

A道が所有する森林であることから協議した中で研究していきたい。

Q農業を核とした産業創出プロジェクト事業の減額理由は

A昨年までは地方創生事業の一環として予算を計上していたが、幌糠農村・農業支援センターの管理やNPO法人るもい農業応援隊に自主運営を振り分けたためである。

Qトドによる海獣被害への対応は

A平成29年度は、3隻の船で延べ9回実施する計画である。

【商工費】

Q水産加工品消費拡大推進事業で29年度に力を入れる取り組みは

Aかずの子条例が制定され、新事業として、若者向けのかずの子の商品開発などを進めたい。

Q地域で起業したい人に対する支援

3月16日から21日まで、予算審査特別委員会を開きました。

制度見直しの検討は

A申請する際のエリアが分かりにくいということは承知している。商店街振興組合連合会と連携しながら分かりやすい制度にしていきたい。

Q外国人観光客の受入環境に関わる整備として無料の充電設備の設置は検討できないか

A29年度は観光地の無線LAN環境の整備を行う。ニーズを把握しながら整備を図っていきたい。

【土木費】

Q北8条通り（旧生協の坂）のロードヒーティングが効率的に稼働していないが、事故防止の対策を考えられないか

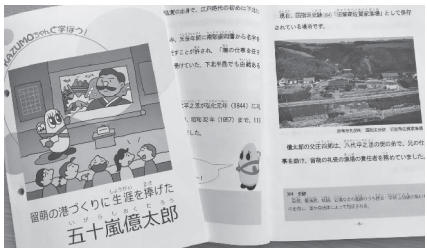
A電力の使用量が増える午後4時から午後9時までの間で15分程度ずつ計2時間、通電を遮断する契約となっている。今後は、状態を確認しながら対策を考えたい。

Q塩見緑地委託管理業の内容は

Aごみ清掃と芝の管理業務を町内会に委託するものである。

【教育費】

Q留萌百年物語事業は今後も継続していくのか



▲市・教育委員会発行の「留萌百年物語」

Aこの事業は3年間をめどとしているが、検討して決めたい。

Q勤労者体育センターの畳の傷みが激しいと聞いているが、安全対策は

A留萌柔道連盟と協議しながら考えていきたい。

Q3年間のスポーツ合宿の成果と課題は

A留萌の知名度アップと食の連携事業、社会教育施設的环境改善などが挙げられる。会場使用料や民間宿泊施設の収容力が課題である。

希望者や漁業協同組合と必要な処置について。

【答弁】1次産業と食品加工などの「ものづくり」との結びつきを強化し、廃校舎のグラウンドを活用した水耕栽培試験事業、資源循環型エネルギーの調査・研究事業などを実施。新たな雇用創出、実施主体としてNPO組織を設立。行政が進めようとしている農業と福祉との連携によるユニバーサル農業の推進など、NPO法人るもい農業応援隊に業務委託を考えている。

ホタテ養殖業の経営転換に対し、就業希望者や漁業協同組合と必要な処置について。

【答弁】「分割民営化」は、国の「行財政改革」として実施されたもの。この度の提案は北海道全体に関わる問題なので道



▲旧幌糠小中学校グラウンドに設置されている水耕野菜栽培実験ハウス

事業の成果を聞きたい。農業・農村支援センターとNPO法人るもい農業応援隊との連携についての方針を聞きたい。

漁業者の安定的経営を確保するため、ホタテ養殖業への経営転換に対し、市の支援はあるのか。

留萌地方卸売市場の建て替えと新星マリン漁業協同組合本所の移転について確認したい。



坂本

茂

無会派

いて調整したい。

留萌地方卸売市場は、昭和53年に公設市場として開設。建て替えは、平成32年度に行う計画。組合本所は、31年に白谷地区に移転計画があり、関係各所と足並みを合わせて調整していく。

【質問】JR留萌線の「存続を求め」道・国に対処と支援を要請すること

「留萌線廃止・バス転換」提案の根源は、毎年500億円近い赤字が出ることを承知で政府が強行した国鉄の「分割民営化」にある。

鉄道は、車椅子利用者や自動車に弱い人にとっては欠かせない移動手段であり、沼田町や秩父別町から深川市に通う高校生の通学に欠かせない足となっている。

留萌市は市民とともに「現に使っている留萌線の存続を求める意思を表示」し、「分割民営化の検証、地域の暮らしと産業振興に欠かせない留萌線を含む公共交通網の確立と支援を道・国に要請すべき」と考える。先人が築いた鉄道路線を安易に廃止させてはならない。市長の見解を伺う。

【答弁】「分割民営化」は、国の「行財政改革」として実施されたもの。この度の提案は北海道全体に関わる問題なので道



▲J R 留萌線（深川ー留萌間）

が公共交通のビジョンを持ち、国に支援を求めたり自治体と協議すべきと考え

る。

鉄道は、自家用車など移動手段を持たない人や学生・高齢者の通学や通院の足として、また、旅行時の移動手段としての役割を担う。一方、今日ではバスで移動する方も増えているので、皆さんの声を聴いて判断したい。



鵜城

雪子

萌政会

【質問】幼児療育通園センター整備計画について

開校後の北光中学校から旧市立病院跡地、旧沖見小学校跡へと移転・新築の考え方が変更された経緯をお聞きたい。

旧沖見小学校を解体し、新築した場合総事業費は4億7000万円だが、留萌市の実質公債費比率は破綻状態にある夕張市、赤平市に続きワースト3となっており、市立病院の赤字などを考慮し、現

在の財政状況を考えてと施設建設費の縮小が必要だと思うが市の見解を伺いたい。

施設を新築するに当たり、ソフト面の充実こそが療育において重要だと考えるが、保護者の要望をどのように聞き入れていくのかお聞きたい。

センター新築は、初めから単独施設と決めつけるのではなく、議論を重ね、視察を行い、より良い施設にする必要があると思うが市長の見解を伺いたい。



▲移転・新築が検討される幼児療育通園センター

【答弁】北光中学校改修には多額の予算が掛かる。不安のない場所で子育てをしてほしいと考えた。

財政状況は、過去のような財政状況にならないように見込んで予算を立てているので理解してほしい。

保護者からのさまざまな要望を徐々に

行っていく。

施設は単独ということで、心に決めたということ

こんなことが決まりました

平成29年 第1回定例会
3月7日～22日

平成29年第1回定例会が16日間の会期で開催され、議案26件、意見書7件などを審議しました。

【議案】

- ・平成28年度留萌市一般会計補正予算(第6号)
- ・平成29年度留萌市一般会計予算
- ・留萌市議会議員及び留萌市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附条例の一部を改正する条例制定について
- ・留萌市議会政務活動費交付条例の一部を改正する条例制定について

ほか21件…… 原案可決

【説明】 市議会は、平成27年度に留萌市議会政務活動費交付条例の一部を改正しましたが、29年度の政務活動費の交付については、議会内での制度に対する認識を深める必要があると判断し、28年度同様凍結することとしました。

【意見書案】

- ・地方自治体議員選挙での選挙運動ビラ頒布の解決を求める意見書
- ・長時間労働を規制する法律の早期制定を求める意見書
- ・地域公共交通維持のための財政支援の拡充を求める意見書
- ・無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書
- ・海洋ごみの処理推進を求める意見書

ほか2件…… 原案可決

編集後記

市民が議会に望んでいること、議員にしてほしいことってどんなことでしょう。生活で不便を感じている環境整備、市の予算チェック、新しい事業構築への市民意見の反映など要求もさまざまです。議員は、それぞれ活動するフィールドや考え方の違いがありますが、市民の幸せを目指していることに違いはありません。皆さんの意見に応えるため、慎重に協議を重ねて方向性を見出しています。今年は、中高生と意見交換や採決を経験してもらい留萌の未来を創造していこうという企画があります。今から、とても楽しみです。(ゆ)

各組合議会からの報告

留萌消防組合議会

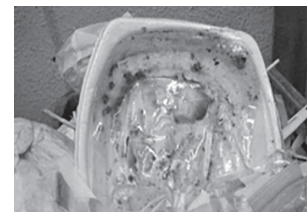
平成29年留萌消防組合議会第1回定例会を3月24日に開催し、「行政報告（消防車両の更新整備について）」および「一般質問（津波浸水災害に対する対応について）」に対する答弁終了後、「平成28年度留萌消防組合補正予算（第3号）」「平成29年度留萌消防組合予算」「留萌消防組合個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について」「留萌消防職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について」の4件を審議、可決しました。

また、定例会開会前に開催した平成29年第1回留萌消防組合全員協議会において、29年度の行政視察の実施について協議し、視察のテーマを女性消防吏員の登用、消防団の装備品の整備状況などについて視察することとしました。

留萌南部衛生組合議会

2月3日開催の第1回議員協議会では、プラ製容器と紙製容器の分別状況について報告がありました。プラ製容器は、汚れた容器など不適切な分別が多く、3市町合わせた適正な分別は59.6%と前回調査より低下。紙製容器は、81.7%となっており、引き続き各市町で、適正な分別の周知などの取り組みをお願いしています。

2月24日の第1回定例会では、29年度留萌南部衛生組合予算を総額8億645万8千円としたほか、長期継続契約に関する新たな条例制定、債権管理に関する規定を新たに定める債権管理条例などを制定しました。



▲汚れた容器は不適物

森林・林業・林産業活性化推進議員連盟からの報告



▲小平町大楸の伐採現場

■林活議連研修会を実施して
森林の役割や大切さなど、留萌地域の林業・木材業の現状についての理解を深めるために、林活議連研修会を2月14日（午後1時～4時）小平町大楸の伐採現場で開催しました。
留萌市議8人、小平町議2人、留萌市議会事務局1人が参加し、非常に有意義な学習の機会を得ることができました。
今年の研修会では、留萌振興局の森林室と林務課のご協力をいただき、小平町の道有林造材事業現場と留萌港の移輸出原木集積現場を現地視察しました。

小平町大楸の伐採現場では、高性能林業機械を巧みに操作するオペレータが短時間でそれぞれの材質に分別（A材は製材用、B材は合板用、C材はパルプ、燃料用）する作業を目の当たりに体験しました。
阿部林業の阿部隆代表から地域の若者をプロに育てる担い手づくりの話伺いました。
情熱的で、人材育成に取り組む真剣な姿勢に期待をしています。
平成28年からは、8月11日が国民の祝日「山の日」と制定されたこともあり、今後、市民との協働による植樹祭や森林環境教育・木育活動の推進に留萌林活議連としても、関係機関と連携を深めていかなければならないと思っています。



後期の各常任委員会が新たに構成されたのでお知らせします。

【議会運営委員会】

- 委員長 燕 昌克
- 副委員長 川口宏和
- 委員 鶴城雪子 野呂照幸
戸水美保子 珍田亮子
村山ゆかり 坂本守正

【第1常任委員会】

- 委員長 野呂照幸
- 副委員長 川口宏和
- 委員 土田悦也 澤井篤司
米倉靖夫 鶴城雪子
小野敏雄 村上 均

【第2常任委員会】

- 委員長 村山ゆかり
- 副委員長 坂本 茂
- 委員 笠原昌史 燕 昌克
戸水美保子 珍田亮子
野崎良夫 坂本守正

【議会広報常任委員会】

- 委員長 鶴城雪子
- 副委員長 笠原昌史
- 委員 土田悦也 米倉靖夫
川口宏和 戸水美保子
村山ゆかり 坂本守正

「北海道市議会議長会 道北支部議長会」 3年半ぶりに留萌市で開催

平成29年度春季北海道市議会議長会道北支部議長会（加盟7市：旭川市、稚内市、士別市、紋別市、名寄市、富良野市、留萌市）が、4月6日、留萌市役所第2委員会室で、各市の議長、副議長、議会事務局職員21人が集まり開催されました。



▲道北支部議長会会議

留萌市での開催は25年度秋季以来、3年半ぶり。会議では、今年度の北海道・全国市議会議長会役員、今年度事業計画（案）などを協議したほか、北海道市議会議長会へ

の提出議案についても協議し、留萌市議会が提案した「J R北海道の経営再建及び路線維持に向けた支援措置について」が承認されました。

会議終了後は「留萌市幌糠農業・農村支援センター」を視察し、農業と福祉の連携による6次産業化事業の取り組みや地方創生先行型交付金で設置した農業用実験ハウスA棟・B棟、資源循環型ボイラーハウスなどを2班に分かれて見学しました。



▲現地で水耕栽培を視察